

小城市江里山地区

棚田ボランティア・草刈り作業(佐賀県農業土木振興会)に参加

西日本総合コンサルタント株式会社

佐賀県の農業土木職員OBでつくる「佐賀県農業土木振興会」(牛草寛志会長、会員20人)は7月2日、彼岸花で有名な佐賀県遺産の「小城市・江里山の棚田」において棚田ボランティアとして耕作放棄された田圃等の草刈り作業を実施された。活動には会員14人が参加し、当社から内野政則常務取締役と山口鶴美技術管理部長の2名が参加しました。

同会は建設コンサルタントの技術向上、情報交換、地域貢献、事業の発展などに寄与することを目的として平成23年5月に発足しました。現在は、県の農業土木技術者OBで県内の建設コンサルタント会社に勤務する20名で組織されています。

棚田ボランティア活動については、第1期目に平成29年度～令和元年度の3か年間、苅木(ちあのき)棚田(佐賀市富士町)で草刈り作業を実施し、活動を通じて地域住民との交流が行われてきました。第2期目の取り組みとして、令和2～4年度の3か年間、江里山地区と草刈り作業〈年2回〉の棚田ボランティア協定を締結されています。

今回、牛草寛志会長をはじめ14名の参加で今年第1回目の作業実施となりました。江里山地区は、約230メートルの標高に位置し、高齢化、離農等で耕作放棄地が増加し、棚田の維持等が課題となっています。既に棚田の田植えが



(江里山地区の皆さんとボランティア参加者との集合写真・江里山公民館前)

すみ田圃に映える緑のコントラストが美しく参加者からは、「空気がとてもきれい、おいしい、心が癒される」といった言葉が聞かれた。

江里山地区での初めての作業であり、当会の牛草寛志会長から、社会貢献活動としての棚田ボランティア参加の意義と、安全な作業活動の挨拶があった。次に江里山区長から、草刈りボランティア活動に対する御礼と作業手順の説明が行われた。

また、当日は、県内の棚田ボランティア活動を取りまとめておられる県農林部の高田俊行副部長も参加されており、地域との交流、地域の活性化等について挨拶された。



(牛草寛志会長の挨拶)



(江里口博区長の挨拶と作業説明)



(高田俊行農林部副部長)

作業は、2班に分かれ、地区の役員と一緒に耕作が行われていない約20枚程度の田圃を草刈り機によつての草刈り作業、イノシシ防護柵のカズラ撤去等を行い快い汗をかいた。昼食は、公民館で弁当を美味しく頂き、江里山地区の江里口博会長らと参加者との間で棚田の課題、感想、意見交換などが活発に行われた。今回、平野地区に参加された関係者の皆様、お疲れ様でした。

江里山地区は、9月23日にイベント「ひがな花まつり」が予定されており、その前に、第2回目のボランティア活動が予定されています。





(耕作放棄地の草刈り作業
梅雨の合間の晴天・作業日和)

参加された皆様お疲れ

さまでした!!





(←耕作放棄地の草刈り)



(イノシシ防護柵の
カズラ切り →)



(草刈り作業が無事に終了：たいへんお疲れさまでした。
左から高田俊行県農林部副部長、江里口博区長、牛草寛志佐賀県農業土木振興会会長)



（昼食後の地域交流：感想、課題など活発な意見交換　　於：江里山公民館）



（田植えが終わり、緑のラインが美しい棚田風景）